

ごあいさつ

このたびは、ヤマハポータブルPAシステム STAGEPAS 150Mをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。STAGEPAS 150Mは、スピーカーとミキサーで構成されたPAシステムです。STAGEPAS 150Mのさまざまな機能を十分に活用するために、この取扱説明書をご使用の前に必ずお読みください。お読みになったあとは、保証書とともに保管してください。

特長

●2way 8インチ (20cm) スピーカー

コンパクトながら高品位でパワフルなサウンドを実現できます。外傷に強いボディで屋外でも安心して使用できます。

●パワードミキサー

イコライザーやリバーブ機能まで内蔵したオールインワンのパワードミキサー。2モノラル+3ステレオ入力に対応しています。多彩な楽器や音響機器を接続できます。

●コンパクト収納

ミキサーをスピーカーに収納できるので、小さいスペースで屋内でも屋外でも対応できます。

パッケージの内容（お確かめください）

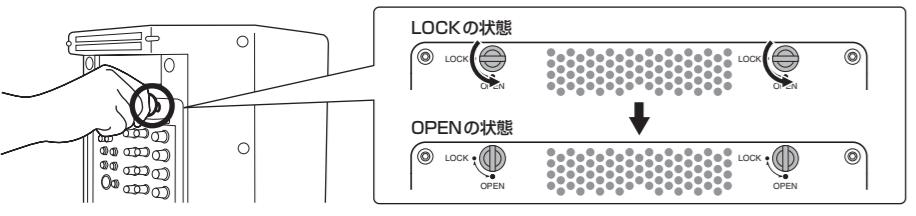
□スピーカー(300S) □ミキサー □電源ケーブル
□スピーカーケーブル □取扱説明書(本紙) □保証書

NOTE: 工場出荷時には、ミキサーはスピーカーに取り付けられています。

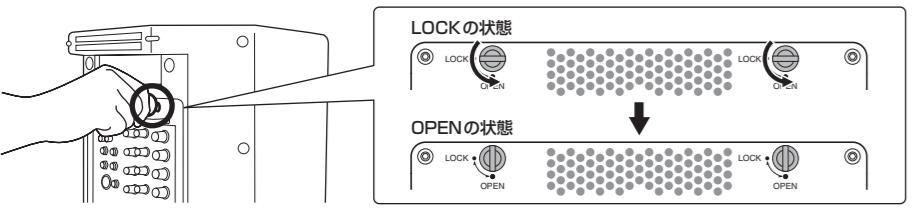
ご使用前の準備

ミキサーの取り外し

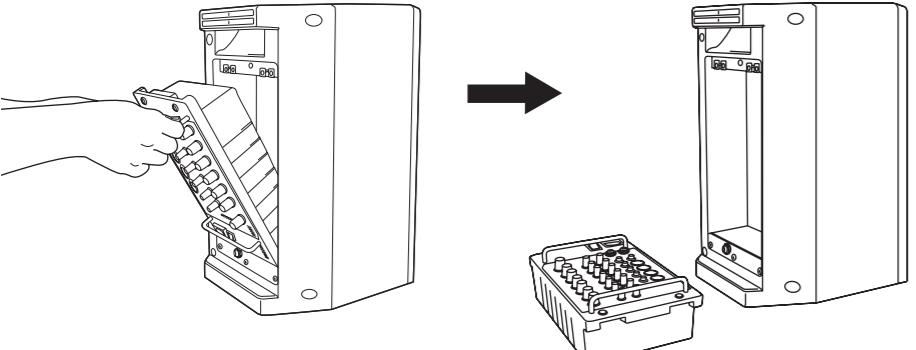
1 ミキサーの電源が切れていることを確認します。



2 コインなどを使って、ミキサーの固定ネジをLOCKからOPENの方向に「カチッ」と音がするまで回します。



3 ミキサーのハンドルを持ってスピーカーからミキサーを取り外します。



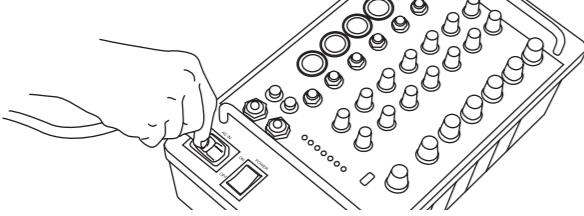
! ミキサーをスピーカーから取り外すときやミキサーだけを持ち運ぶときは、必ずミキサーのハンドルを使用してください。

ミキサーを取り付けるときは、スピーカーの溝とミキサーの凸部を合わせてミキサーをしっかりとめ込んだあと、固定ネジをOPENからLOCKの方向に「カチッ」と音がするまで回します。

NOTE: ミキサーをスピーカーに取り付けたままでもご使用いただけます。

電源を入れる/切る

1 POWERスイッチが「OFF」になっていることを確認します。



2 [AC IN]端子に付属の電源コードを接続し、電源コンセント(AC100V)にプラグを差し込みます。

- スピーカーから大きなノイズが発生しないようするため、音源に近い機器から順に電源を入れてください。
例 CDプレーヤーや楽器などの音源→STAGEPAS 150M
電源を切る場合は、上記の逆の手順になります。
- 電源を入れる前に、LEVELコントロール、MASTER LEVELコントロールを“0”にしておいてください。

3 POWERスイッチを「ON」側に押すと、電源が入ります。

POWERインジケーターが点灯します。
電源を切るには、POWERスイッチを「OFF」側に押します。
POWERインジケーターが消灯します。

困ったときは？(故障かな？と思ったら)

電源が入らない

- 付属の電源コードが電源コンセントに正しく接続されていますか？

突然、電源が切れた

- 大音量で長時間使用していませんか？
許容レベルを超えた音量で長時間使用すると、保護回路が動作して電源が切れます。ミキサー内部の熱が下がるまでPOWERスイッチを「ON」にしても電源はありませんので、熱が下がってから電源を入れてください。また、LIMITERインジケーターが一瞬点灯するレベル以下に、MASTER LEVELコントロールで音量を下げてください。

- ミキサーのパネル上の通風孔をふさいでいませんか？
放熱が不十分なためミキサーに熱がこもると、保護回路が動作して電源が切れます。ミキサー内部の熱が下がるまでPOWERスイッチを「ON」にしても電源はありませんので、熱が下がってから電源を入れてください。

音が出ない

- 外部機器(マイクを含む)やスピーカーは、正しく接続されていますか？

- 各チャンネルのLEVELコントロールやMASTER LEVELコントロールなどは、適切に調節されていますか？

- SPEAKER端子には、付属のスピーカー(300S)を接続していますか？
POWERインジケーターが点滅していませんか？スピーカーケーブルがショートしている場合があります。

スピーカーケーブルが正しく接続されているか確認したあと、再度電源を入れてください。

- CLICKスイッチ(ヘッドフォン用)はOFFに設定されていますか？

- それでも音が出ない場合は、取扱説明書(本紙)に記載されているヤマハ修理ご相談センターにご相談ください。

音が歪んだり、雑音が入る

- 各チャンネルのLEVELコントロールやMASTER LEVELコントロールは、上がりすぎていませんか？

- 各チャンネルのMIC/LINEスイッチは適切に設定されていますか？

- チャンネル(1, 2)のXLRタイプとフォーンタイプの端子に両方接続していませんか？
どちらか一方の端子だけをご使用ください。

- ミキサーに接続した機器からの入力信号のレベルは適切ですか？

音が小さい

- 各チャンネルのLEVELコントロールやMASTER LEVELコントロールなどは、適切に調節されていますか？

- 各チャンネルのMIC/LINEスイッチは適切に設定されていますか？

- チャンネル(1, 2)のXLRタイプとフォーンタイプの端子に両方接続していませんか？
どちらか一方の端子だけをご使用ください。

- ミキサーに接続した機器からの入力信号のレベルは適切ですか？

リバーブがかからない

- 各チャンネルのREVERBスイッチはON(■)になっていますか？

- REVERBコントロールは適切に調節されていますか？

スピーカーからの音に迫力をつけたい

- SPEECH/MUSICスイッチが、MUSIC(■)の設定になっていますか？

- イコライザー(HIGH/LOW)は、適切に調節されていますか？

スピーカーの声をはっきりさせたい

- SPEECH/MUSICスイッチが、SPEECH(■)の設定になっていますか？

- イコライザー(HIGH/LOW)は、適切に調節されていますか？

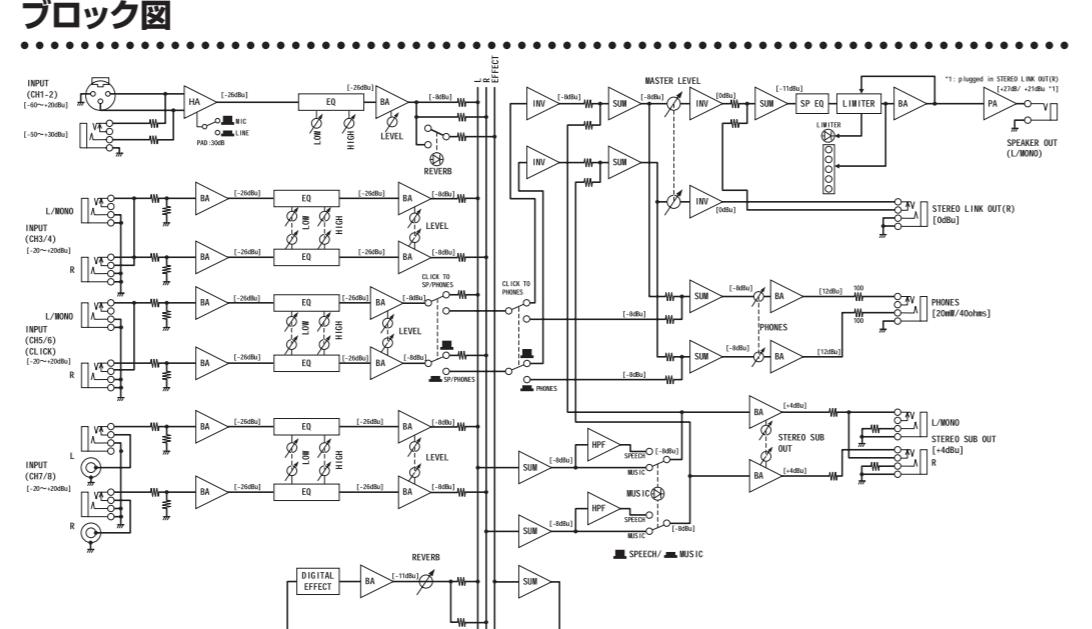
メインミキサー用の信号を出力したい

- ST SUB OUT端子にメインミキサーを接続してください。ST SUB OUT端子は、MASTER LEVELコントロール調節前(プリフェーダー)の信号を出力します。ST SUB OUT端子の出力信号レベルは、ST SUB OUTコントロールで調節してください。MASTER LEVELコントロールの影響を受けません。ST SUB OUT L端子のみ使用すると、LとRの信号がミックスされて出力されます。

ミキサーを取り付けるときは、スピーカーの溝とミキサーの凸部を合わせてミキサーをしっかりとめ込んだあと、固定ネジをOPENからLOCKの方向に「カチッ」と音がするまで回します。

NOTE: ミキサーをスピーカーに取り付けたままでもご使用いただけます。

ブロック図



安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ず守りください。お読みになられたあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

この機器を移動するときは、必ず電源コードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行なう。

コードをいためたり、お客様や他の方々が転倒したりするおそれがあります。

この機器を電源コンセントの近くに設置する。

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	【注意ください】
	～しないでください～
	【必ず実行】

【警告】 「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

【注意】 「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

警告

電源/電源コード

電源は必ず交流100Vを使用する。

誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。

電源コードは、必ず付属のものを使用する。

直射日光のある場所(車の中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、また、ほかにやれり振動の多いところで使用しない。

電源コードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源コードに重いものをのせない。

この機器のパネルが変形したり、内部の部品が故障したりする原因になります。

イコライザーやLEVELコントロールをすべて最大に設定しない。

接続した機器によっては、発振したりスピーカーを破損したりする原因になります。

112dB(輸入)ペル

周波数特性(ノミナル出力レベル)1kHz

-3dB, 0dB, +1dB @20Hz~20kHz (MUSIC/SPEECH=MUSIC) (ST SUB OUT)

-3dB, 0dB, +1dB @80Hz~20kHz (MUSIC/SPEECH=SPEECH) (ST LINK OUT)

-3dB, 0dB, +1dB @20Hz~20kHz, 1W出力 (MUSIC/SPEECH=MUSIC, SPEAKER EQを除く) (SPEAKER)

全高調波歪率

<0.5% @20Hz, 1kHz, 20kHz +14dBu GAIN=すべてノミナル (ST SUB OUT, ST LINK OUT)

ハム&ノイズ(ハイブリッドノイズ, R_s=150Ω, MIC/LINEスイッチ=MIC)

<-112dBu (CH1/2)

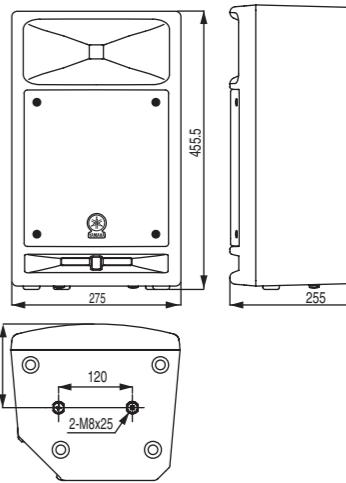
<-56dBu 残留ノイズ (SPEAKER)

クロストーク (1kHz)

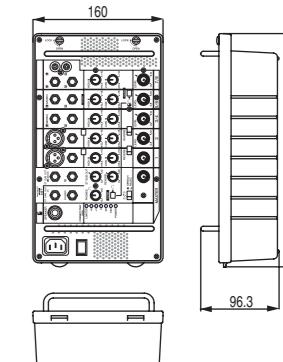
<-70dB 入出力間

寸法図

スピーカー部



ミキサー部



消費電力

20W

質量

9.6kg (スピーカー+ミキサー)

入り寸法(内寸) (禁)

最大可積 (禁) 15dB

HIGH: 10kHzゼルビングタイプ

LOW: 100Hzゼルビングタイプ

スピーカーユニット

エンクロージャー

2way/バフ型、ポリプロピレン、黒

クロスオーバー周波数

4.0kHz (LF:12dB/oct, HF:1.2dB/oct)

再生周波数帯域

55Hz~20kHz (-10dB)

スピーカーエニティ

LF: 8' (2.4m)コンプレッションドライバー

HF: 1' (0.30m)ナット

* 仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

サービスについて

保証書

この商品には保証書がついています。販売店でお渡ししているか、ご住所・ご名前・お買上げ年月日・販売店名など所定事項の記入および記載内容をおたしかめの上、大切に保管してください。

保証書は当社がお客様に保証期間内の無償サービスをお約束するもので、この商品の保証期間にお買上げ日より1年です。保証期間内の転居や、ご贈答用に購入された場合などで、記載事項の変更が必要なときは、事前・事後を問わずお買上げ販売店またはお客様ご相談窓口へお問い合わせください。

接続

アース(接地)

クイックガイド

スピーカーから音を出す

付属のスピーカーを使って、音を出してみましょう。

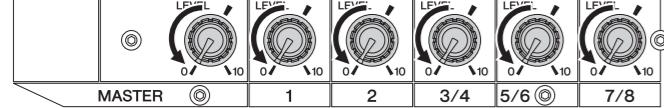
1 ミキサーにスピーカーや楽器などを接続します

付属のスピーカー(300S)をSPEAKER端子に接続してください。マイクや楽器などの外部機器を入力端子に接続します。接続例を参照してください。

他の機器(マイクも含む)と接続する場合は、すべての機器の電源を切った状態で行ってください。
また電源を入れたり切ったりするときは、必ずすべての機器の音量(ボリューム)を最小にしてください。

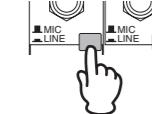
NOTE: エレキギターやエレキベースなどを接続する場合は、DI(ダイレクトボックス)、ブリアンプ(ギターアンプ)、アンプシミュレーターなどを経由してミキサーに接続することをおすすめします。

2 ミキサーのLEVELコントロール、MASTER LEVELコントロールを“0”にします



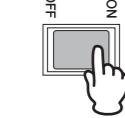
3 接続したチャンネルのMIC/LINEスイッチをMIC(■)またはLINE(□)に設定します

マイクなどのレベルが低い入力信号を接続したチャンネルは、MIC/LINEスイッチをMIC(■)にします。キーボードやオーディオ機器などのレベルが高い入力信号を接続したチャンネルは、MIC/LINEスイッチをLINE(□)にします。



4 電源を入れます

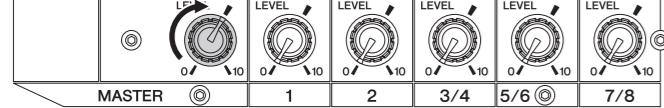
接続した外部機器の電源をすべてONにしたあと、STAGEPAS 150Mのミキサーの電源をONにします。アンプ内蔵スピーカー(パワードスピーカー)を接続している場合は、ミキサーの後に電源をONにします。



スピーカーから大きなノイズが発生しないようにするために、音源に近い機器から順に電源を入れてください。

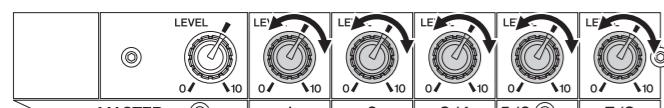
例: 音源(外部機器) → STAGEPAS 150M → (パワードスピーカー)
電源をOFFにするときは、上記の逆の順序になります。

5 MASTER LEVELコントロールを“!”に合わせます



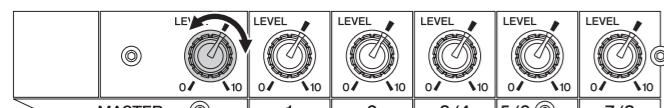
6 楽器やマイクで音を出しながら、各チャンネルのLEVELコントロールを調節します

LEVELメーターの“0”がときどき点灯するように、音が入力されているチャンネルのLEVELコントロールを調節します。



7 MASTER LEVELコントロールで全体の音量を調節します

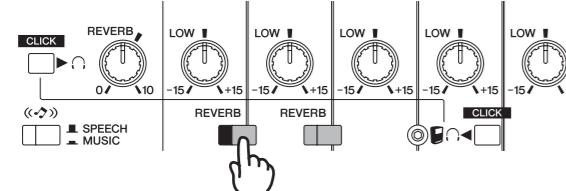
LIMITERインジケーターが長く点灯し続けると、内蔵アンプやスピーカーを破損する原因となりますのでご注意ください。



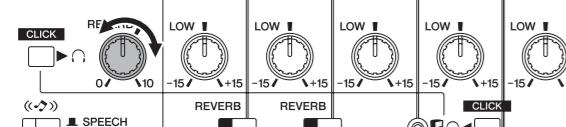
リバーブ(残響音/エコー)をかける

コンサートホールやライブハウスで演奏しているような臨場感を得ることができます。

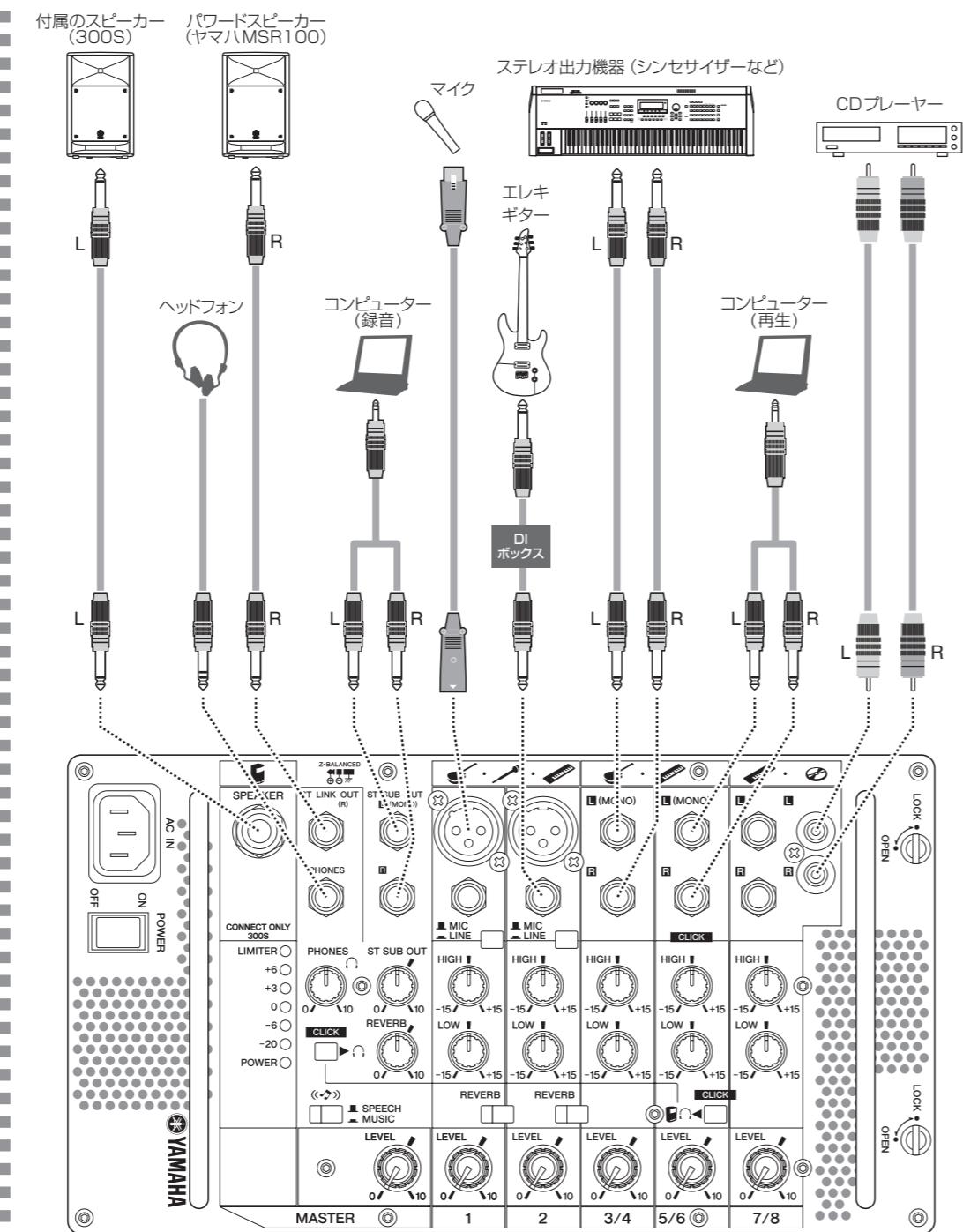
1 リバーブをかけたいチャンネルのREVERBスイッチを押してON(■)にします



2 REVERBコントロールで全体のリバーブのかかり具合を調節します



接続例1



各部の名称と機能



1 AC IN端子

付属の電源コードを接続します。

! 必ず実行
電源コードは付属のものをご使用ください。それ以外のものを使用すると、故障、発熱、火災などの原因になることがあります。

2 POWERスイッチ

電源のON/OFFを切り替えるスイッチです。

20 LEVELメーター

SPEAKER端子から出力される信号のレベルを表示します。

! 必ず実行
LIMITERインジケーターが長い間点滅すると、内蔵のパワーアンプに過大な負荷がかかり、故障の原因になります。

信号の最大入力時に瞬点灯するレベル以下に、MASTER LEVELコントロールで調節します。スピーカーからステレオで出力する場合に使用します。

5 PHONES端子

チャンネル1から7/8のミックスされた信号が、PHONESコントロールでレベル調整されて出力されます。ヘッドフォンを接続します。

6 ST SUB OUT L(MONO) / R端子

チャンネル1から7/8のミックスされた信号が、ST SUB OUTコントロールでレベル調整されて出力されます。メインミキサーなどを接続します。インバータンスバランス回路を採用していますので、バランスケーブルを使用することにより、ケーブルをより長く引き回すことができます。

21 POWERインジケーター

POWERスイッチをONにすると点灯します。POWERインジケーターが点滅している場合は、保護回路が作動しています。スピーカーケーブルが正しく接続されているか確認したあと、再度電源を入れ直してください。

7 ST SUB OUTコントロール

ST SUB OUT端子から出力される信号レベルを調節します。

NOTE: MASTER LEVELコントロールの影響は受けません。

8 PHONESコントロール

PHONES端子から出力される信号レベルを調節します。

NOTE: MASTER LEVELコントロールの影響は受けません。

9 チャンネル入力端子(CH 1, 2)

ギター、マイク、キーボードなどを接続します。接続した信号レベルに合わせてMIC/LINEスイッチを切り替えてください。

XLRタイプの端子のピン配列は、以下のとおりです。(IEC60268規格に基づいています)

1: グラウンド(GND)、2: ホット(+)、3: コールド(-)

NOTE: 一つのチャンネルでフォーン端子とXLR端子を同時に使用することはできません。どちらか一方だけをご使用ください。

10 ステレオチャンネル入力端子(CH3/4, 5/6, 7/8)

ステレオ信号をL/Rに入力します。シンセサイザーやCDプレーヤーなどステレオ信号で出力される機器を接続します。

NOTE: 一つのステレオチャンネルでフォーン端子とRCAピン端子を同時に使用することはできません。どちらか一方の端子だけをご使用ください。

11 MIC/LINEスイッチ

チャンネル1、2の入力信号のレベルに応じて切り替えます。マイクなどのレベルが低い入力信号を接続したチャンネルは、MIC/LINEスイッチをMIC(■)にします。キーボードやオーディオ機器などのレベルが高い入力信号を接続したチャンネルは、MIC/LINEスイッチをLINE(□)にします。

! 必ず実行
スピーカー保護のために、パワーアンプ(パワードスピーカー)の電源がOFFの状態で、MIC/LINEスイッチをLINE(□)にします。

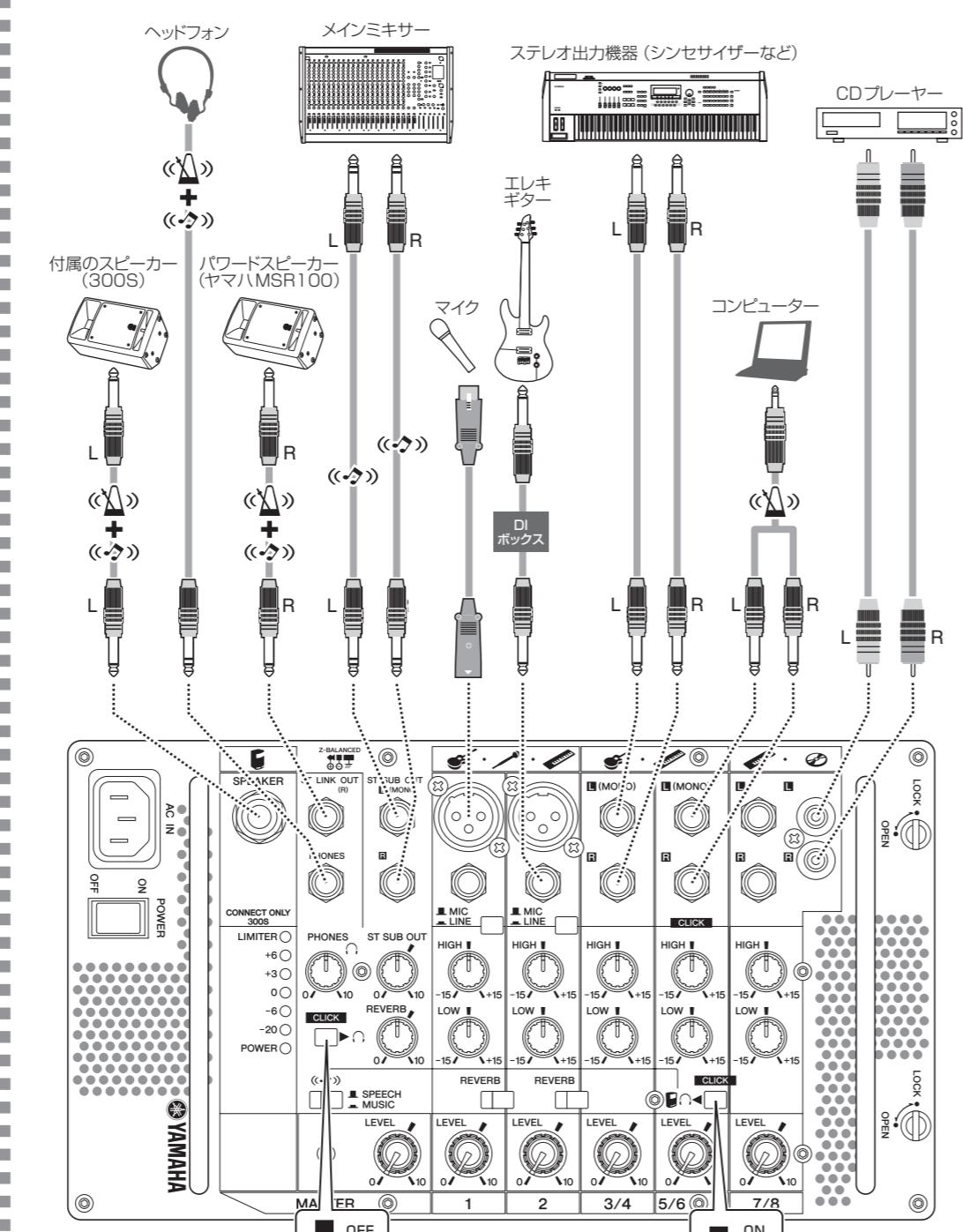
大音量が出て、聴力障害または機器の損傷になることがあります。

12 EQ(イコライザー)

HIGH 各チャンネルの高音を調節します。右に回すと高音が強調されて、はっきりしたハギレのいいサウンドになります。「キーン」とハウリングする場合は、少し左に回して高音を抑えます。

LOW 各チャンネルの低音を調節します。右に回すと低音が強調されて、響きの深いサウンドになります。「ボーン」とハウリングする場合や音がごもる場合は、少し左に回して低音を抑えます。

接続例2



18 CLICKスイッチ(ヘッドフォン用)

チャンネル5/6のCLICKスイッチがONのときに、このスイッチをONにすると、チャンネル5/6に入力されたクリック(メトロノーム)音がPHONES端子からのみ出力されます。

19 SPEECH/MUSICスイッチ

SPEECH/MUSICスイッチをSPEECH(■)にすると、アナウンスなどのスピーチに適した音質になります。SPEECH/MUSICスイッチをMUSIC(□)にすると、楽器演奏やライブなどに適した音質になります。MUSIC(□)にするとSPEECH/MUSICスイッチが、黄色に点灯します。

16 LEVELコントロール

各チャンネルの音量バランスを調節します。

! 必ず実行
ノイズを減らすために、使用しないチャンネルのLEVELコントロールは最小“0”にしておいてください。

17 MASTER LEVELコントロール

SPEAKER端子またはST LINK OUT Rから出力される音量を調節します。LEVELコントロールやEQ(イコライザー)で調節した音色や、各チャンネルの音量バランスを変化させることなく全体の音量だけを調節します。

15 CLICKスイッチ(ヘッドフォン/スピーカー用)

このスイッチをONにすると、チャンネル5/6に入力されたクリック(メトロノーム)音がPHONES端子、SPEAKER端子、ST LINK OUT R端子から出力されます。ST SUB OUT端子からは出力されません。演奏者が、シーケンサーやシンセサイザーやのクリック音をモニターしたいときにはこのスイッチをONにします。

13 REVERBコントロール

コンサートホールやライブハウスで演奏しているようなリバーブ(残響音/エコー)をかけたい場合は、このREVERBスイッチをON(■)にします。ONにすると、REVERBスイッチが緑色に点灯します。

14 REVERBコントロール

全体のリバーブ(残響音/エコー)のかかり具合を調節します。リバーブをかけすぎると音がぼやけたり、ハウリングしやすくなりますので、少し抑えて設定します。